



DAIHATSU

01999-B2379

Tanto

WELCOME SEAT

取扱説明書

ご使用前によくお読みください



このたびは、ダイハツ車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。




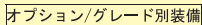
本書は、タント ウェルカム シートの
専用機構について説明しています。
ご使用の前に必ずお読みください。
なお、基本的な内容は同梱の
タント取扱説明書を参照ください。

必読！ドライバーのみなさまへ

特に重要な事柄です。必ず読んでから操作、あるいは作業に取りかかってください。これらを守らないと思わぬけがや事故につながったり、車を損傷するおそれがあります。

安全についての表示マーク・その他の表示マーク

本文中に記載されているマークの意味は下記の通りです。

 警告	警告事項を守らないと、生命にかかわるけが、あるいは重大なけがにつながるおそれがあります。
 注意	注意事項を守らないと、けがや事故、車の破損につながるおそれがあります。
 アドバイス	お車のために守っていただきたい事項です。
 オプション/グレード別装備	オプション、またはグレードなどにより、装備の有無の異なる項目です。

ご愛車のために

- 車種によって取り扱い方法が異なる場合は、車両型式やエンジン型式を確認したうえで操作を行ってください。
- 保証および点検・整備については、別冊の「メンテナンス ノート」に記載していますのでお読みください。
- ダイハツ サービス工場に取り付けられた装備の取り扱いについては、添付されている取扱説明書をご覧ください。
- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書を車に付けておいてください。
 - 車の仕様変更により、本書の内容やイラストがお車と一部異なる場合がございますがご了承ください。
 - 本書は別冊の「メンテナンス ノート」とともに、いつもお車に保管しておいてください。
 - ご不明な点は、ご購入先のダイハツ サービス工場（営業スタッフ）におたずねください。

目 次

必読! ドライバーのみなさまへ

3

- 車を運転する前に----- 4
- 車を運転するにあたって----- 5

タント ウェルカム シートの取り扱い

7

- 助手席シート リフト----- 8
- 車いすの収納 ----- 54
- 非常用工具----- 59
- ヒューズの点検と交換 -----60

定期点検整備

63

さくいん

67

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

安全のためにぜひ守りましょう



必読! ドライバーのみなさまへ

ご使用の前に、特に守っていただきたいこと、
知っておいていただきたいことをまとめています。



警告に値する項目です



注意に値する項目です

車を運転する前に ----- 4

車を運転するにあたって ----- 5

車を運転する前に

タント ウェルカム シートで 乗降するときは

- 操作は、必ず介添えの方が行ってください。
- 平坦地で車の通行が少ない、安全な場所に停車して乗降してください。
坂道や交通量の多い道路、平坦でない道路や舗装されていない所、狭い所などでの乗降は、乗降者の足元が不安定になり大変危険ですので、絶対に行わないでください。
- 強風時、または傾斜地などで助手席側ドア、スライド ドアを開けた状態で、助手席シート リフトを車体の外側に出していると、助手席側ドア、スライド ドアが動きシートおよび乗降者に当たるおそれがありますので注意してください。
- 左側スライド ドアを開けるときは、必ず全開位置まで開けて、確実に固定されていることを確認してください。
スライド ドアが確実に固定されていないと、不意に動き出すことがありますので、注意してください。
- 乗降するときは、駐車ブレーキを確実にかけ、シフト レバーをPレンジに入れてください。

車を運転するにあたって

助手席シート リフト乗員もシートベルトを着用してください

- 走行する前に必ず運転者、同乗者とも全員がシートベルトを着用してください。（リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。）
- 走行時は、助手席シート リフト乗員も必ず標準装備のシートベルトを着用してください。また、オプション設定の胸部固定用ベルト（別売）を、シートベルトの代用として使用しないでください。
- シートベルトは正しく着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶおそれがあります。必ず正しい着用方法を身に付けてください。



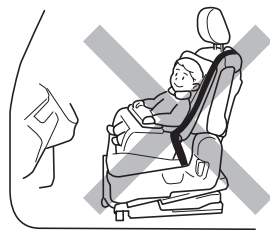
半ドア状態のまま走行しないでください

走行する前に助手席シートベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。

助手席シートベルトを着用せずに半ドア状態のままでは、助手席シートリフトが思わぬ作動をするおそれがあり危険です。

助手席シート リフトにチャイルドシートを取り付けしないでください

助手席シートリフトやチャイルドシートが破損したり、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

タント ウェルカム シートの取り扱い

タント ウェルカム シート専用の取り扱い方法について
説明しています。

■ 助手席シート リフト

助手席シート リフトの 取り扱いについて-----	8
各部の名称-----	12
シート スライド調整-----	13
リクライニング調整-----	14
ヘッド レストの調整-----	15
助手席背もたれの前倒し (シート バック テーブル) -----	15
アーム レスト -----	18
折りたたみ式フット レスト-----	19
シート昇降スイッチ-----	19
昇降位置切替スイッチ-----	20
リモコン スイッチ -----	20
大型アシスト グリップ -----	23
助手席シート リフトの使いかた -----	24
非常時の収納方法-----	39
リヤ シートについて-----	50
チャイルド シートの取り付け-----	50

■ 車いすの収納

車いすの収納について-----	54
収納できる車いすの寸法 (折りたたみ時) -----	54
車いす固縛ベルト -----	55
車いす収納方法 -----	56

■ 非常用工具

収納場所-----	59
-----------	----

■ ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換-----	60
-----------------	----

助手席シート リフト

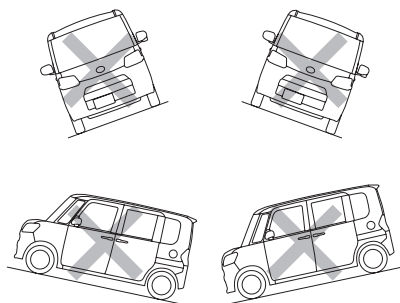
助手席シート リフトの取り扱いについて

⚠警告

- 助手席シート リフトを車体の外側に出した状態では、絶対に走行しないでください。
- 走行する前に助手席シート ベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
半ドア状態のままシート昇降スイッチを操作すると助手席シート リフトが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 走行時には、助手席シート リフト乗員も必ず車両のシート ベルトを着用してください。オプション設定の胸部固定用ベルト（別売）は、シート ベルトの代用として使用しないでください。

⚠注意

- 平坦地を選んで乗降してください。坂道や傾斜地などでの乗降は、乗降者の足元が不安定になり大変危険です。
- 傾斜地などでスライド ドアを開けたままにすると、スライド ドアが不意に動き、乗降者に当たってけがをしたり、助手席シート リフトに当たるなどして破損するおそれがあります。

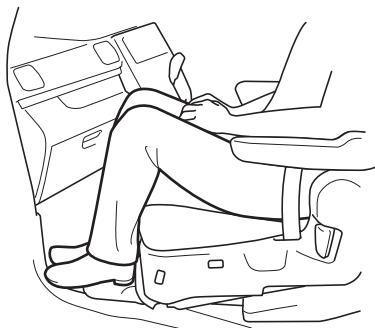


- 介添えの方は、必ず駐車ブレーキをかけた状態を確認し、シフト レバーをPレンジに入れてください。また、車両周辺の交通に十分注意して操作してください。



⚠注意

- フロント側から乗降されるときは、助手席シート リフトの回転により下肢が移動するため、ひざが図のように曲がらなければ使用が困難になりますので注意してください。
足が当たる場合は、リヤ側から乗降してください。



- 助手席シート リフトは一人用で、最大昇降能力は 100kgです。危険ですので、シートに一度に二人以上乗車して使用しないでください。助手席シート リフトが故障する原因になります。

タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

⚠注意

- 助手席シート リフトを操作するときは、乗降者の頭や手足など体の一部がドア開口部やインストルメント パネルなどに当たらないように注意してください。



- 助手席側ドアを閉めるとき、ドアとアーム レストの間に腕を挟まれないように注意してください。
- 助手席シート ベルトを外したときは、完全に巻き取られていることを確認してください。完全に巻き取られていない状態で助手席シート リフトを操作すると、シートベルトを巻き込んでシートが破損するおそれがあります。
- 助手席シート リフトを操作しているときは、ドアを閉めないでください。ドアが閉まると、乗降者に当たってけがをしたり、シートに当たるなどして破損するおそれがあります。
- エンジンを停止させた状態で、10 回以上連続で作動させないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- 強風時、助手席側ドア、スライド ドアを開けた状態で、助手席シート リフトを車体の外側に出していると、助手席側ドア、スライド ドアが動き、シートおよび乗降者に当たるおそれがありますので注意してください。
- 助手席シート リフトを車外に出したまま、放置しないでください。特に炎天下、雨天、寒冷時などで放置するとカバー類の変形やモーターなどが故障するおそれがあります。

タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

⚠注意

- フット レストの上で立ち上がらないでください。フット レストが破損したり、フット レストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 乗降者の頭部や手足などがドア開口部などに接触しないように注意してください。



👉アドバイス

- タント ウェルカム シートの助手席シート リフトは、助手席シート ベルトを着用していても、していなくても昇降操作が可能です。

助手席シートについて

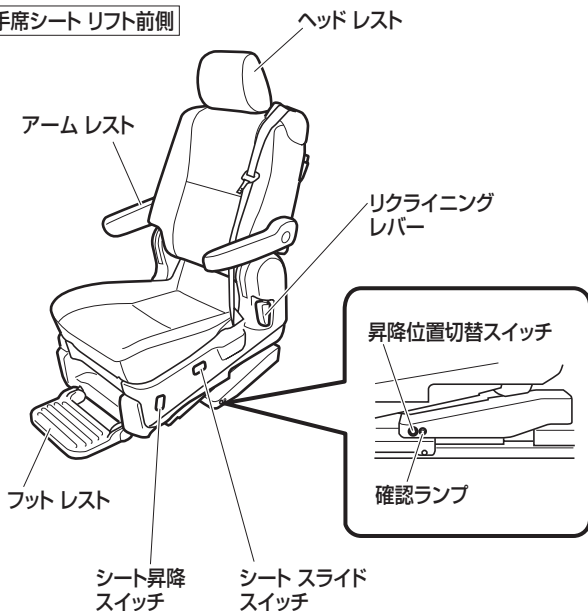
- 標準車のシートと形状、および仕様が異なります。
- 助手席シート ベルト未装着警告灯、およびブザーはありません。

タント ウェルカム シートの取り扱い

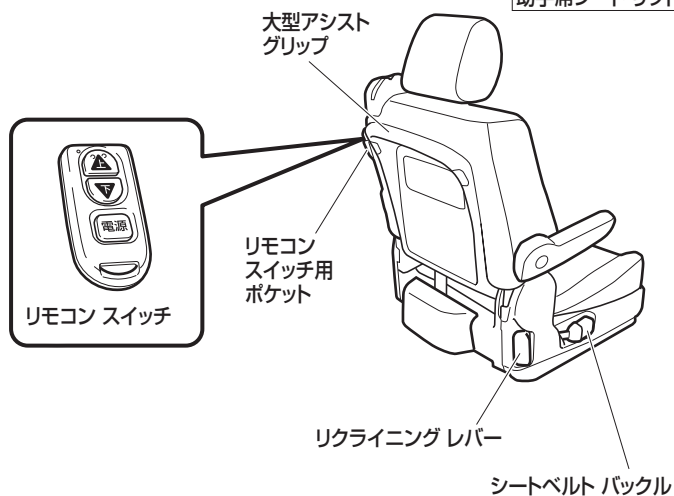
助手席シート リフト

各部の名称

助手席シートリフト前側



助手席シートリフト後側



シート スライド調整

▼ 調整を行う前に

⚠警告

- スライド調整は必ず運転前に行ってください。

⚠注意

- 助手席の前後に物を置かないでください。シート スライド時、物を挟むなど、助手席シート リフトが損傷するおそれがあります。

▼ 調整方法

スイッチを押している間、作動します。

- シートを前方へスライドさせるときは、スイッチの前側を押し続けます。
- シートを後方へスライドさせるときは、スイッチの後側を押し続けます。

スイッチから指を離すと、その位置で止まります。



⚠注意

- シート スライド スイッチを操作して、助手席シート リフトが最後までスライドしたあと、スイッチを同一方向に操作し続けしないでください。故障の原因になります。

👉 アドバイス

- 助手席シート リフトが車外に出た状態で、シート スライド スイッチを操作してもシートは動きません。



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

リクライニング調整

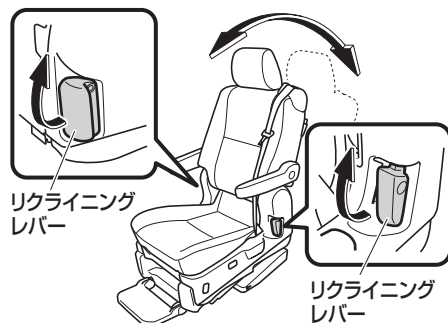
▼ 調整を行う前に

⚠警告

- リクライニング調整は必ず運転前に行い、調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと走行中に背もたれが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼ 操作方法

リクライニング レバーを引き上げ、背もたれの角度を調整します。



⚠注意

- リクライニング レバーを引き上げる時は背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。

👉 アドバイス

- 2カ所あるリクライニング レバーのどちらを操作しても調整できます。

助手席シート リフトで乗降するときは

- 背もたれは、必ず左側リクライニング レバー上の▶マークと◀マークが合う位置に調整してください。



ヘッド レストの調整

▼ 調整を行う前に

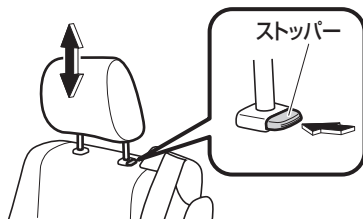
⚠警告

- ヘッド レストを外した状態で走行しないでください。衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取り付け、ヘッド レスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- ヘッド レストを前後逆に取り付けしないでください。衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

▼ 調整方法

そのまま持ち上げて調整します。

- 下げるときは、ストッパーを押しながら「カチッ」という音がする位置で固定します。
- 取り外すときは、ストッパーを押しながらヘッド レストを引き抜きます。



助手席背もたれの前倒し (シート バック テーブル)

助手席シート リフトの背もたれを前に倒すと、テーブルとして利用したり、リヤシートと併せて長い荷物を載せたりできます。

⚠警告

- 走行中は助手席シート リフトの操作を行わないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 走行中はテーブルとして使用しないでください。急ブレーキをかけたときに置いている物が落ち、思わぬ事故につながったり、熱い飲み物がこぼれるとやけどをするおそれがあります。
- 背もたれを前倒したあと、また元に戻したあとは背もたれを軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと、走行中に背もたれが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

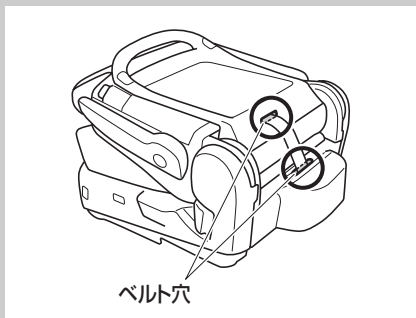


タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

⚠警告

- 助手席シート リフト後ろのベルト穴にごみなどの異物を入れないでください。衝突時にシート ベルトが十分な効果を発揮できないおそれがあります。



ベルト穴

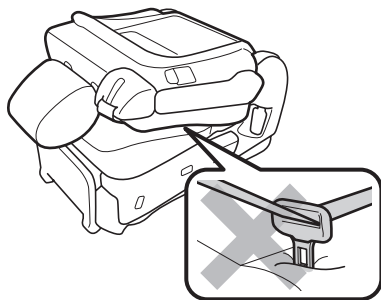
- 助手席シート リフト後ろのベルト穴付近に足などをのせないでください。シート ベルトのプリテンショナー機構が作動したとき、やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- 背もたれを操作するときは、手や足などを挟まないように注意してください。また、背もたれが急に動くことがあります。必ず背もたれを手で押さえながら操作してください。
- 倒した背もたれの上に人を乗せて走行しないでください。助手席シート リフトが破損したり、思わぬけがをするおそれがあります。
- 運転席シートは無理に前倒ししないでください。前倒しできる機構ではないため、シートが破損するおそれがあります。
- 背もたれを前倒しするときは、アームレストを起こした状態にしてください。アームレストを倒したまま、背もたれを前倒しすると、アームレストが助手席シート リフトに当たり、損傷するおそれがあります。

👉アドバイス

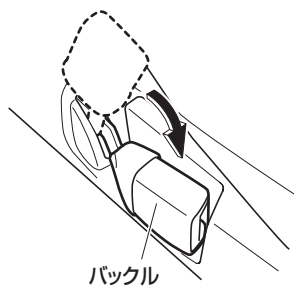
- 背もたれを前倒しするときは、シートベルトのプレートの向きに注意してください。シートにプレートのあとが残ることがあります。



タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

▼ 操作方法

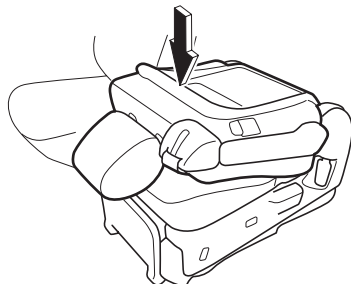
1. 助手席シート リフトを後方いっぱいまでスライドします。
2. ヘッド レストを一番低い位置に調整します。
3. 左右アーム レストを一番上げた位置にします。
4. シート ベルトのバックルを収納します。



👉 アドバイス

- シート ベルトのバックルを起こしたままテーブル状態にすると、シートにバックルのあとが残ることがあります。

5. リクライニング レバーを引いて、背もたれを前に倒します。
6. 背もたれを上から押して固定します。



▼ 元に戻すとき

リクライニング レバーを引いて、背もたれを固定される位置まで引き上げます。

⚠️ 注意

- 背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと、走行中に背もたれが動き思わぬけがをするおそれがあります。

👉 アドバイス

- シート ベルトがロックして背もたれが起こせないときは、途中まで起こしたあといったん倒し、再度起こしてください。
または、一度シート ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくと引き出してください。



タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

アーム レスト

▼ 使用方法

前に倒して使用します。



⚠注意

- シート ベルトを着用するときは、腰部ベルトが必ずアーム レストの下側を通るように正しく着用してください。
- 助手席側ドアを閉めるとき、ドアとアーム レストの間に腕を挟まれないように注意してください。
- ハンドル操作時に、運転者の左ひじが、助手席のアーム レストに当たることがありますので注意してください。
- 車内からスライド ドアのドア ハンドルを操作するときは、アーム レストを前に倒してスペースを確保してから操作してください。アーム レストとスライド ドアの間で指を挟み、けがをするおそれがあります。

⚠注意

- アーム レストを操作するときは、シートとアーム レストの隙間に手などを入れないでください。指や手などを挟んでけがをするおそれがあります。特に、お子さまが指などを挟まないように十分注意してください。
- アーム レストの上に乗ったり、重いものを載せないでください。アーム レストが破損したりけがをするおそれがあります。

👉 アドバイス

- シート ベルトは、アーム レストを一番上げた位置にすると、容易に着用することができます。

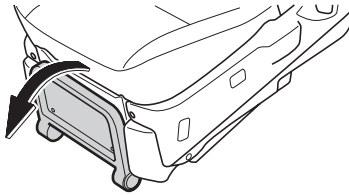
折りたたみ式フット レスト

助手席シート リフトを上昇、下降させるときに、乗降者のフット レストとして使用します。

フット レストはシート前側下部に折りたんで収納されています。

▼ 使用方法

前に倒して使用します。

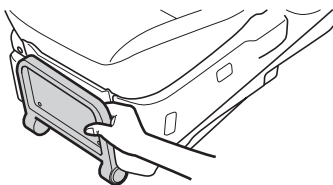


⚠ 注意

- フット レストの上で立ち上がらないでください。フット レストが破損したり、フット レストから落ちてけがをするおそれがあります。
- 折りたたみ式フット レストを操作するときは、必ず先端部を持って操作してください。回転部近くを持つと、回転部で指などを挟み、けがをするおそれがあります。

👉 アドバイス

- フット レストは片手で操作することができます。



シート昇降スイッチ

助手席シート リフト操作を行うときに使用します。



▼ 操作方法

スイッチを押している間、作動します。

- シートを下降させるときは、スイッチの下側を押し続けます。
- シートを上昇させるときは、スイッチの上側を押し続けます。

スイッチから指を離すと、その位置で止まります。

タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

昇降位置切替スイッチ

フロント側から助手席シート リフトを車外に出すときに“ON”（確認ランプが点灯）にします。

（フロント側からシートを出す
→ 35 ページ）

- 確認ランプ点灯時は、助手席側ドアとスライド ドアともに全開した状態でも、フロント側から昇降します。



▼ 作動条件

昇降位置切替スイッチは下記の条件を満たしたとき“ON”になります。

- シフト レバーがPレンジのとき
- 助手席側ドアが開いているとき
- シート セットが完了しているとき

📌 アドバイス

- 昇降位置切替スイッチを押したあと、下記の操作をすると確認ランプが消えてフロント側からの下降動作は解除されます。
 - シート スライド スイッチを押す
 - 助手席側ドアを閉める
 - 再度、昇降位置切替スイッチを押す

リモコン スイッチ

離れた場所から助手席シート リフト操作をすることができます。

▼ 操作を行う前に

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカー、および植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、電波による影響について、医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により、医療用電気機器の作動に影響をあたえるおそれがあります。

⚠ 注意

- リモコン スイッチを使用して助手席シート リフトの操作を行うときも、周囲の安全を確認し、必ず介添えの方が乗降者を補助してください。
- 乗降者の頭、腕、足などが車両に挟まれていないことを確認できる位置で操作してください。
- 故障の原因となりますので、断続的に上昇、または下降ボタンを押さないでください。断続的にボタンを押しても助手席シート リフトは作動しません。ボタンは、押し続けてください。
- ボタンの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切り替え操作を行うと、助手席シート リフトが故障するおそれがあります。

⚠️ 注意

- リモコン スイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、下記の事項を必ず守ってください。
- リモコン スイッチをダッシュ ボードの上など、直射日光の当たる場所および、高温になるところに置かないでください。
- 分解しないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 水にぬらさないでください。水たまりなど、水中に落下させると故障の原因となります。
- リモコン スイッチの清掃にシンナー、ベンジン、ガソリンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水または、ぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってから、ふいてください。

👉 アドバイス

- リモコン スイッチは、周囲の状況により作動範囲が変わることがあります。
- 周囲の電波状況によりリモコン スイッチの上昇、または下降ボタンを押し続けたままでも、助手席シート リフトが作動しない場合があります。下記のようななった場合、もう一度リモコンスイッチのボタンを押し直してください。
- 乗降操作をするときに助手席シート リフトが作動しない
- 乗降操作中に助手席シート リフトが停止した

👉 アドバイス

- 助手席側ガラスに金属を含有するウインド フィルムや、その他の金属物（ダイハツ純正品以外のアンテナなど）を貼り付けると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動範囲が短くなるおそれがあります。
- リモコン スイッチは、持ち運びできるので紛失しないように、ご注意ください。
- リモコン スイッチを紛失し、新たにお買い求めの場合は、最寄りのダイハツ サービス工場にご相談ください。

電池について

- 電池寿命は約 1 年間です。（1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合）電池寿命は実際の使用状況によって変わります。
- リモコン スイッチを操作しても助手席シート リフトが作動しない場合や、著しく作動距離が短くなった場合、または動作表示ランプが暗くなったり、点灯・点滅しなくなった場合は電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。

（電池交換→ 23 ページ）

- 電池の交換をしても助手席シート リフトが作動しない場合は、ヒューズ切れが考えられます。点検してください。（ヒューズの点検と交換→ 60 ページ）



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

👉 アドバイス

リモコン スイッチの交換について

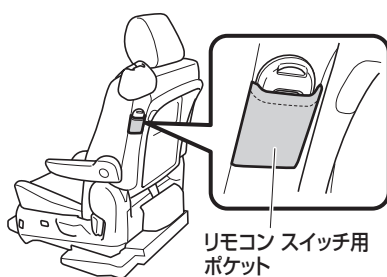
- リモコン スイッチを交換するときは、IDコードを登録する必要がありますので、最寄りのダイハツ サービス工場にご相談ください。

航空機に乗るときは

- 航空機にリモコン スイッチを持ち込む場合は、航空機内でリモコン スイッチのボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

リモコン スイッチ用ポケット

リモコン スイッチは、助手席シート リフトのポケットに収納できます。



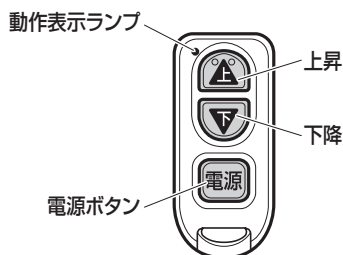
リモコン スイッチの使いかた

▼ 操作方法

“電源” ボタンを押して使用します。

- シートを下降させるときは、“下降” ボタンを押し続けます。
- シートを上昇させるときは、“上昇” ボタンを押し続けます。

ボタンから指を離すと、その位置で止まります。



👉 アドバイス

- 断続的にボタンを押したり、複数のボタンを同時に押すと、助手席シート リフトは作動しません。
- リモコン スイッチは電池の消耗を防ぐため、一定時間操作が行われないと、自動的に電源が切れます。続けて操作するときは、もう一度“電源” ボタンを押してから操作してください。
- リモコン スイッチの電源を入れると、動作表示ランプが赤色に点灯します。
リモコン スイッチで助手席シート リフトを操作しているときは、動作表示ランプが緑色に点滅します。

電池交換

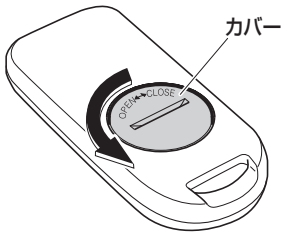
リモコン操作ができなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池は、お客様自身で交換できます。

▼ 使用電池について

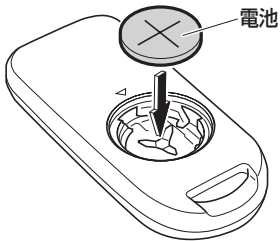
使用電池は「CR2032 (3V)」です。

▼ 交換方法

1. コインなどを利用して、本体裏面のカバーをはずします。



2. 電池を取り出し、新しい電池と交換します。

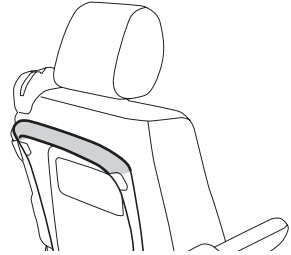


⚠注意

- 取り出した電池はお子さまが飲み込まないようにご注意ください。

大型アシスト グリップ

後席に乗り降りするときに使用します。



⚠注意

- 特に重たい物や、大きな物を大型アシスト グリップにかけないでください。大型アシスト グリップが折れたり、走行中に外れたり、助手席シートリフトが故障する原因となります。

タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

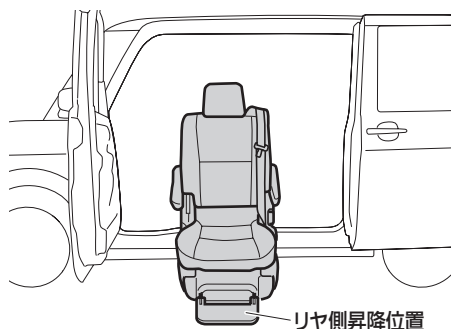
助手席シート リフトの使いかた

ドアの開閉状態に合わせて、リヤ側、またはフロント側から乗降できます。

リヤ側からの乗降

大開口スペースをいかした乗降ができます。

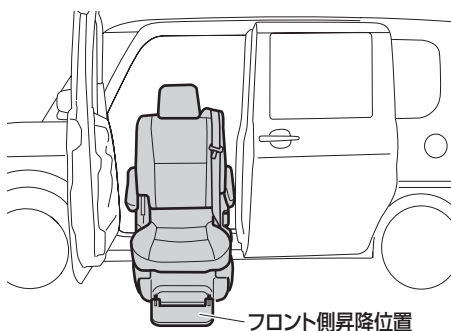
- 助手席側ドア、スライド ドアともに全開にして、助手席シート リフトを操作します。
(リヤ側からシートを出す→ 34 ページ)
(シートを車内に戻すとき→ 36 ページ)



フロント側からの乗降

助手席側ドア開口スペース内で乗降ができます。

- 助手席側ドアを全開にし、昇降位置切替スイッチを押してから、助手席シート リフトを操作します。
(フロント側からシートを出す→ 35 ページ)
(シートを車内に戻すとき→ 36 ページ)

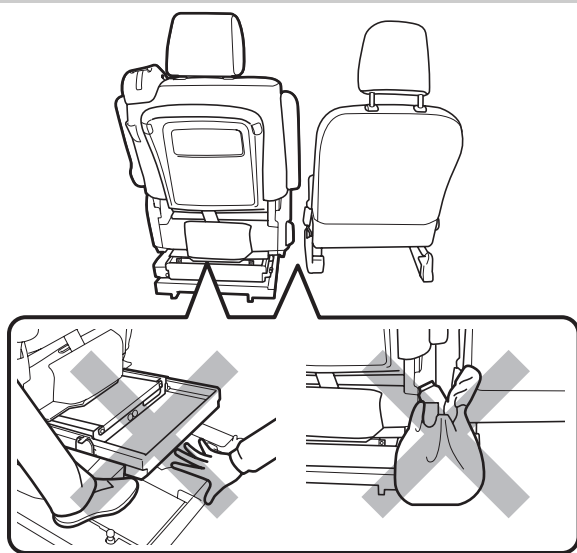


👉 アドバイス

- 助手席側ドア、スライド ドアともに全開にした状態でも、昇降位置切替スイッチを押すと、フロント側から乗降できます。

⚠警告

- 走行する前に助手席シート ベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
半ドア状態のままシート昇降スイッチを操作すると助手席シート リフトが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 下記の場所に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。
挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。
- 運転席と助手席シート リフトの間
- 助手席シート リフトの下
- 助手席シート リフトの動く部分
- 助手席シート リフトの作動範囲周辺



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

⚠警告

- スライド ドアは必ず全開（ストッパーがかかり、固定される位置）にしてください。開け方が不完全で固定されていないと、不意に動き出すことがあります危険です。
- リヤ側から乗降するときは、以下の内容を守ってください。助手席シート リフトが後方に大きくスライドするため、手足など体の一部を挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。
- リヤ シートに人を乗せない
- 助手席シート リフトの動く部分や作動範囲周辺に近づいたり、物などを置いたりしない



スライド ドアについて

- 助手席シート リフトを操作しているときは、スライド ドアの操作を行わないでください。スライド ドアが閉まると、乗降者に当たってけがをしたり、シートに当たるなどして破損するおそれがあります。

⚠注意

- 助手席シート リフトは、シフト レバーがPレンジ以外では作動しません。必ず駐車ブレーキを確実にかけ、シフト レバーをPレンジに入れてください。
- 助手席側ドアが閉まっていると、シート昇降スイッチの下側（またはリモコンスイッチの電源を入れ、下降ボタン）を押しても、助手席シート リフトは作動しません。また、スライド ドアだけ開いている状態でも同じです。

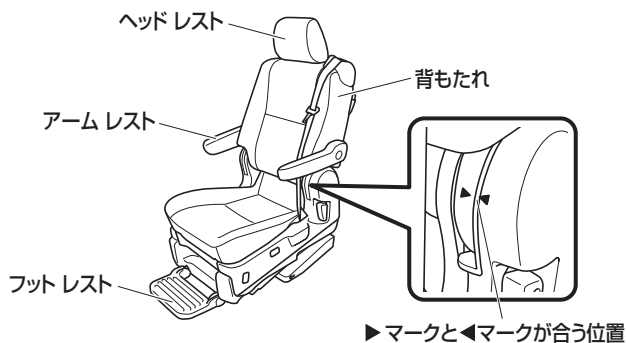
タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

⚠️注意

- 助手席シート リフトを操作するときは、乗降者の頭や手足など体の一部がドア開口部やインストルメント パネルなどに当たらないように注意してください。



- 助手席シート リフトは必ず背もたれを▶マークと◀マークが合う位置に調整してヘッドレストを取り付け、左右アームレストおよびフットレストを一番下げた位置にしてください。また、必要に応じて、乗降者の体を補助した状態で操作を行ってください。



- リヤ側から助手席シート リフトを操作するときは、必ずリヤシートを後方いっぱいまでスライドさせてから操作してください。後方いっぱいまでスライドさせないと、リヤシートに助手席シート リフトが当たって停止したり、シートが損傷するおそれがあります。



タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

⚠注意

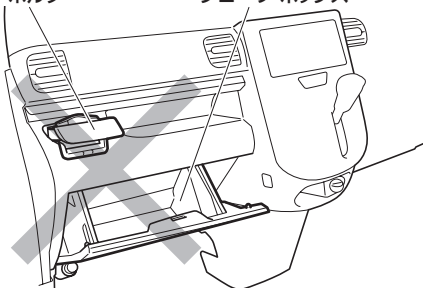
- 助手席側のドアを必ず開口限度まで開けて、シートおよび乗降者の体がドアなどに接触しないようにしてください。シートおよび乗降者の体がドアなどに接触したときは、すぐにシート昇降スイッチから指を離し、操作を止めてください。



- 助手席シート リフトの下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。シートを操作するときに障害物に当たり、シートが破損するおそれがあります。
- 助手席シート リフトの作動範囲周辺に乗降のさまたげになる物がないかを確認し、必ず収納してから乗降操作をしてください。
- グローブ ボックスと助手席カップ ホルダーを必ず閉めておいてください。開けたまま操作すると、乗降者が手足を挟んでけがをしたり、シートがグローブ ボックスと助手席カップ ホルダーに当たって破損するおそれがあります。

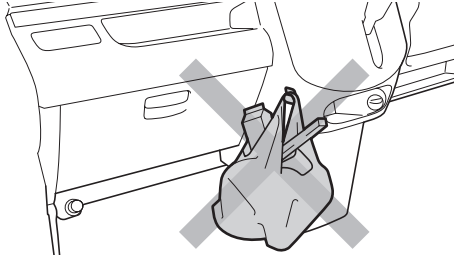
カップホルダー

グローブボックス



⚠注意

- ショッピング フックを使用しないでください。シートが回転するときに、乗降者に当たってけがをしたり、荷物が損傷するおそれがあります。



- サン バイザーを格納してください。サン バイザーに頭やヘッド レストを当てるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 助手席シート ベルトを外したときは、完全に巻き取られていることを確認してください。完全に巻き取られていない状態で助手席シート リフトを操作すると、シートベルトを巻き込んでシートが破損するおそれがあります。

👉アドバイス

助手席シート リフトの挟み込み防止機能について

- 挟み込み防止機能は、助手席シート リフト乗降者の思わぬ事故やけが、および助手席シート リフト損傷の軽減を目的とした機能です。
下記の状態を確認して、助手席シート リフトを操作してください。
- 助手席シート リフトが回転中、障害物に当たるなどして作動がさまたげられると警告ブザー（「ピー」という音）が鳴り、シートは少し反転してから停止します。この場合、乗員の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしてください。

助手席シート リフトが下降しなくなったとき

- 助手席シート リフトに異常が発生して上昇はするが下降しなくなったときは、異常状態を解除させるためにシートを車内に戻して、シート セットを完了させてください。

（上昇するが下降しないとき→ 40 ページ）

- 助手席側ドアが全開で、昇降位置切替スイッチを押しても確認ランプが点灯しないときは、シート セットが完了していません。
シート昇降スイッチの上側を押し続けて、シート セットを完了させてください。

タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

アドバイス

ブザー音について

- 助手席シート リフトの操作状況や異常状態をお知らせするためにブザーが鳴ります。

(ブザー音について→ 38 ページ)

パワー スライド ドアについて

- 助手席シート リフトが回転・昇降中、または車外に出ているとき、パワー スライド ドアは自動開閉できません。
- フューエル リッドが開いている状態ではスライド ドアが全開できません。

(フロント側からシートを出す→ 35 ページ)

(シートを車内に戻すとき→ 36 ページ)

▼ スイッチ操作について

注意

- 故障の原因となりますので、断続的にシート昇降スイッチの上昇ボタン、または下降ボタンを押さないでください。

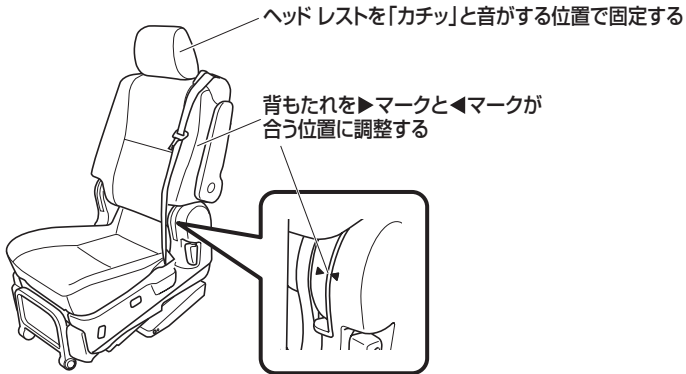
断続的にボタンを押しても助手席シート リフトは作動しません。ボタンは、押し続けてください。

アドバイス

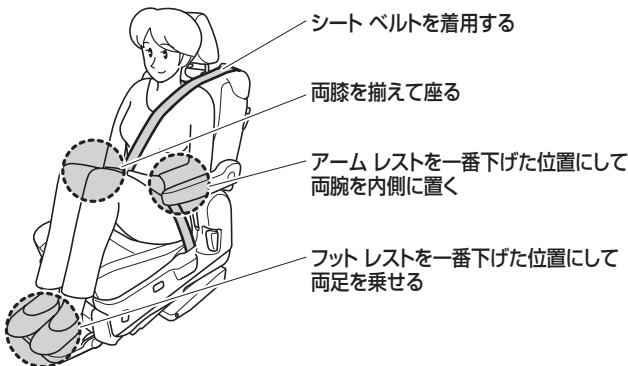
- 助手席シート リフトの回転、昇降は連続して操作することができます。昇降の切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
- 途中で回転、昇降を停止させるときは、シート昇降スイッチから指を離すと、その位置で停止します。

シートを操作する前に

1. 駐車ブレーキをかけ、シフト レバーをPレンジに入れます。
2. 助手席側ドアを全開にします。
3. リヤ側から乗降するときは
 - スライド ドアを全開にします。
 - リヤ シートを後方いっぱいまでスライドさせます。
4. 乗降できる状態にシートを調整します。



5. 乗降者を正しい姿勢でシートに乗せます。

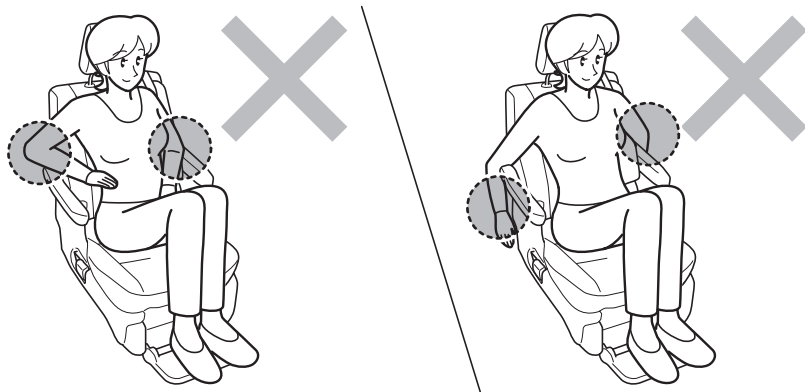


タント ウェルカム シートの取り扱い

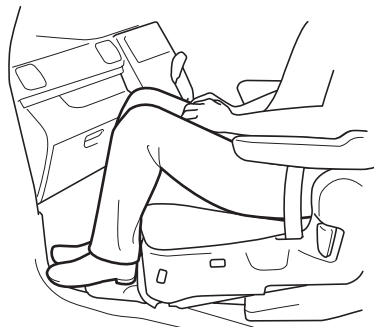
助手席シート リフト

⚠注意

- 乗降者の両腕は、必ず左右アームレストより内側においてください。両腕が外側に出ていると、車両やドアなどに腕を挟むなどして、思わぬけがをすることがあります。



- 乗降者の足が開脚状態で回転させると、ひざが車両に当たるおそれがあります。両ひざを揃えてお座りください。



- 助手席シート リフトを操作するときは介添えの方が乗降者を補助しながら操作してください。

👉アドバイス

- 両足をフットレストに乗せることができないときは、介添えの方が支えてください。

シートを車外に出すとき

⚠注意

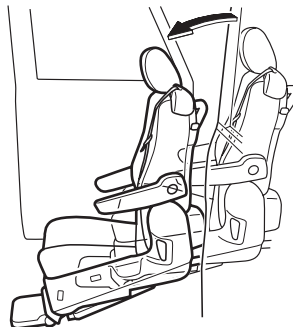
- 助手席シート リフト作動中は、障害物などに当たっても、シートが止まらない場合があります。異常を感じたらすぐに指を離して操作を停止してください。手足を挟んでけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。

👉アドバイス

- シート昇降スイッチから指を離すと、助手席シート リフトはその位置で止まります。再度スイッチを押すと、シートが再作動します。

👉アドバイス

- 助手席シート リフト下降時にシート全体が前に傾き、乗降がしやすくなります。



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

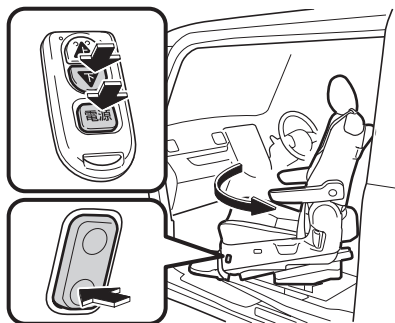
■ リヤ側からシートを出す

▼ 操作方法

1. 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認します。

(シートを操作する前に
→ 31 ページ)

2. シート昇降スイッチの下側 (またはリモコン スイッチの電源を入れ、下降ボタン) を押し続けて、シートを回転開始位置までスライドさせ、車外側に約 90° 回転させます。



3. さらにシート昇降スイッチ (またはリモコン スイッチ) を押し続けて、シートを車外側に下降させます。



4. 下降限度になるとブザーが鳴りますので、シート昇降スイッチ (またはリモコン スイッチ) から指を離します。
5. 乗降者のシート ベルトを外します。

タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

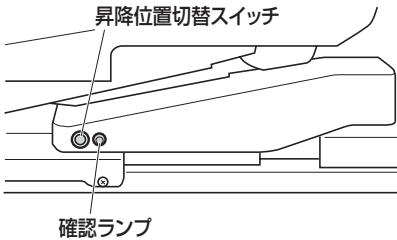
■ フロント側からシートを出す

▼ 操作方法

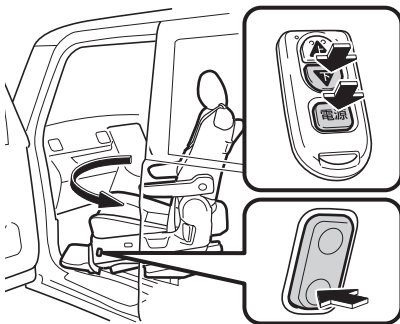
1. 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認します。

(シートを操作する前に
→ 31 ページ)

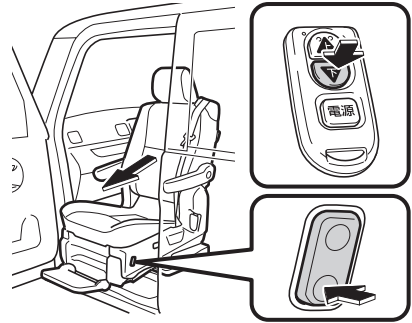
2. 昇降位置切替スイッチを押します。
スイッチ横の確認ランプが点灯します。
(昇降位置切替スイッチ→ 20 ページ)



3. シート昇降スイッチの下側 (またはリモコン スイッチの電源を入れ、下降ボタン) を押し続けて、シートを回転開始位置までスライドさせ、車外側に約 90° 回転させます。



4. さらにシート昇降スイッチ (またはリモコン スイッチ) を押し続けて、シートを車外側に下降させます。



5. 下降限度になるとブザーが鳴りますので、シート昇降スイッチ (またはリモコン スイッチ) から指を離します。
6. 乗降者のシート ベルトを外します。

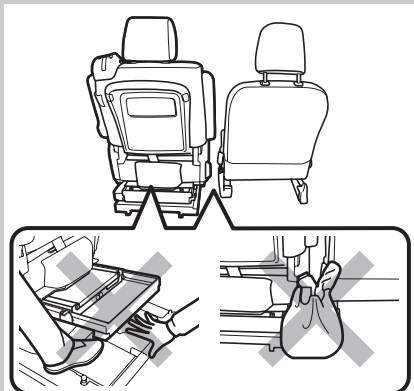
タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

シートを車内に戻すとき

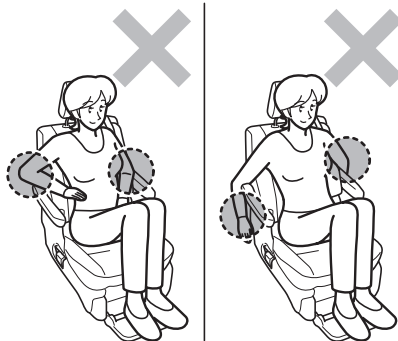
⚠警告

- 下記の場所に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。
- 運転席と助手席シート リフトの間
- 助手席シート リフトの下
- 助手席シート リフトの動く部分
- 助手席シート リフトの作動範囲周辺



⚠注意

- 乗降者の両腕は、必ず左右アームレストより内側においてください。両腕が外側に出ていると、車両やドアなどに腕を挟むなどして、思わぬけがをするおそれがあります。



- 助手席シート リフト作動中は、障害物などに当たっても、シートが止まらない場合があります。異常を感じたらすぐに指を離して操作を停止してください。手足を挟んでけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。

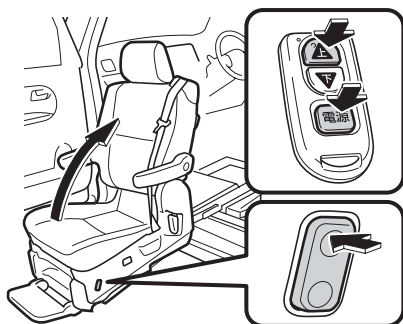
タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

▼ 操作方法

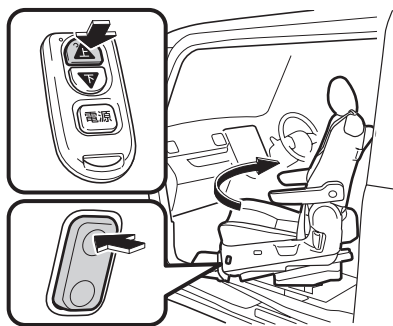
1. 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認します。

(シートを操作する前に
→ 31 ページ)

2. シート昇降スイッチの上側（またはリモコンスイッチの電源を入れ、上昇ボタン）を押し続けて、シートを車内側に上昇させます。



3. さらにシート昇降スイッチ（またはリモコンスイッチ）を押し続けて、シートを車内側に約 90° 回転させます。



4. シートが車内でスライドし、シートセットが完了します。

- ブザーが鳴りますので、シート昇降スイッチ（またはリモコンスイッチ）から指を離します。

5. ドアを確実に閉めます。

⚠ 警告

- シートを車内に戻したときに、警告ブザー（「ピー」という継続音）が鳴るときは、シートが確実に固定されていません。シート昇降スイッチの上側を押し続けて、シートセットを完了してください。

シートが確実に固定されていないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

ブザー音について

助手席シート リフト操作時は、下記のようなブザー音が鳴ります。

ブザー音	動作・状況
ピーッピッ	リヤ側から助手席シート リフトの昇降操作をしたとき
ピッ	フロント側から助手席シート リフトの昇降操作をしたとき
ピッピッ	助手席シート リフトが下降完了したとき
ピッピッピッ	助手席シート リフトがシート セット完了したとき

何らかの原因で異常が発生したときは、下記のようなブザー音が鳴ります。

ブザー音	動作・状況	対処方法
ピー (継続音)	シート セットが不完全な状態で助手席シート リフトを止めたとき	シート昇降スイッチの上側を押し続けてシート セットを完了する
	回転作動中に助手席側ドアが閉まったとき	助手席側ドアを全開にする
	リヤ側で回転作動中にスライドドアが閉まったとき	スライドドアを全開にする
	下降回転作動中にシート スライドスイッチが押されたとき	助手席シート リフト乗員の手足などが誤ってシート スライド スwitchに当たっていないことを確認する
	回転、および昇降作動中、障害物などに当たって助手席シート リフトが停止したとき	助手席シート リフト乗員の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除く
	シフト レバーがPレンジ以外のときに助手席シート リフトを操作したとき	シフト レバーをPレンジにする
ピーッ… ピーッ… (断続音)	車内でスライド作動中に障害物などに当たって助手席シート リフトが停止したとき	助手席シート リフト乗員の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除きシート昇降スイッチの上側をブザーが鳴るまで押し続ける
	助手席シート リフトに異常があるとき	非常時の収納方法 → 39 ページ

非常時の収納方法

シート昇降スイッチを押しても助手席シート リフトが動かないときは、ヒューズを点検・交換してください。

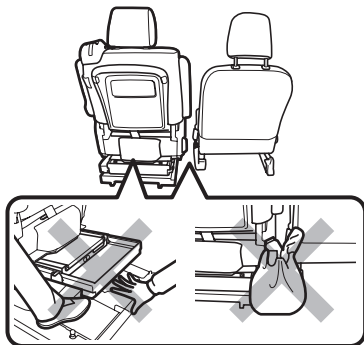
(ヒューズの点検と交換→ 60 ページ)

万一、助手席シート リフトが下降中、または上昇中に動かなくなってしまったときは、ドアを閉めることができませんので、以下の方法で車内に収納してください。

- シート昇降スイッチの上側（上昇）は作動するが下側（下降）が作動しないとき
(上昇するが下降しないとき
→ 40 ページ)
- シート昇降スイッチを押しても、助手席シート リフトが動かないとき
(スイッチを押してもシートが動かないとき→ 44 ページ)

⚠警告

- 下記の場所に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。
- 運転席と助手席シート リフトの間
- 助手席シート リフトの下
- 助手席シート リフトの動く部分
- 助手席シート リフトの作動範囲周辺



⚠注意

- 助手席シート リフトは、シフト レバーがPレンジ以外では作動しません。必ず駐車ブレーキを確実にかけ、シフト レバーをPレンジに入れてください。
 - 助手席シート リフトに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所へ移動させてから作業を行ってください。
 - 非常時に助手席シート リフトを車内へ収納するときは、下記の状態を確認して、助手席シート リフトを操作してください。
- 収納操作の際にシートがドアに当たって損傷したり、手足を挟むなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ずシートの背もたれを直立状態にして、ヘッド レストを一番下げた位置にしてください。
- また、左右アーム レストとフット レストは一番上げた位置にしてください。



- 助手席側ドアとスライド ドアを全開にしてください。

タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

上昇するが 下降しないとき

助手席シート リフトに異常が発生して、上昇はするが下降しなくなったときは、異常を解除させるために、下記の方法でシート セットを完了させてください。下降操作が可能になります。

▼ 操作を行う前に

⚠注意

- 助手席シート リフトを車内に収納（シート セットを完了）しても、警告ブザーが止まらないときは、助手席シート リフトが故障しているおそれがあります。ただちにダイハツ サービス工場で点検を受けてください。
- 点検・修理が完了するまでは、助手席シート リフトに座らないでください。

📖アドバイス

- 助手席シート リフトに異常があるときは、警告ブザー（「ピーッ…ピーッ…」という断続音）が鳴ります。

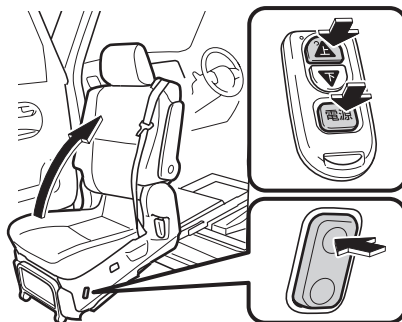
パワー スライド ドアについて

- 助手席シート リフトが回転・昇降中、または車外に出ているとき、パワー スライド ドアを操作しても、自動開閉できません。

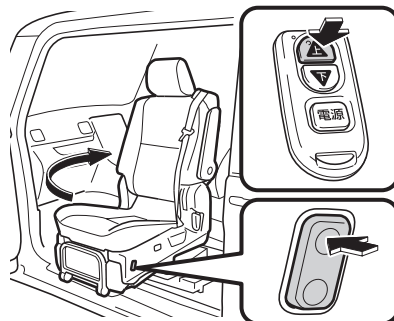
■ リヤ側からシートが車外に出ているとき

▼ 操作方法

1. 駐車ブレーキがかかっていることと、シフト レバーがRレンジの位置にあることを確認します。
2. 助手席側ドアとスライド ドアが全開になっていることを確認します。
3. シート昇降スイッチの上側（またはリモコン スイッチの電源を入れ、上昇ボタン）を押し続けて、シートを車内側に上昇させます。



4. さらにシート昇降スイッチ（またはリモコン スイッチ）を押し続けて、シートを車内側に約 90° 回転させます。



タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

5. シートを車内に戻して、さらにシート昇降スイッチ（またはリモコンスイッチ）を押し続けるとシートがスライドします。
- シートが停止してブザーが鳴りますので、シート昇降スイッチ（またはリモコンスイッチ）から指を離します。



👉 アドバイス

- 助手席シート リフトを車内に収納すると、警告ブザーが止まります。

6. シートが車外側に下降することを確認します。
- シート昇降スイッチの下側（またはリモコンスイッチの電源を入れ、下降ボタン）を押し続けます。



⚠️ 注意

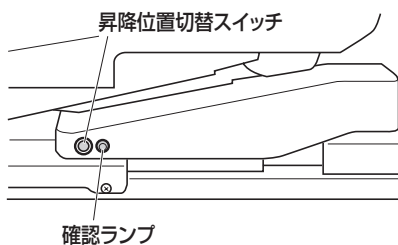
- 下降しないときは、ただちにダイハツサービス工場で点検を受けてください。

7. シート セットを完了します。
- 手順 3. ～5. の操作をします。

▼ シート セット完了確認

助手席シート リフトが車内に戻った状態で、昇降位置切替スイッチを押すと、確認ランプが点灯します。（確認できたらスイッチを押して、確認ランプを消灯させてください）

（昇降位置切替スイッチ→ 20 ページ）



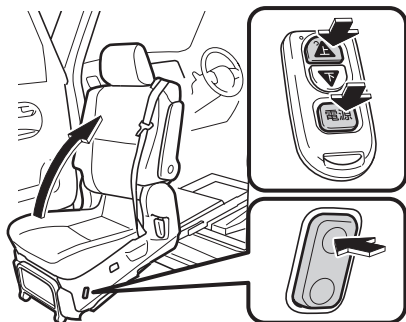
タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

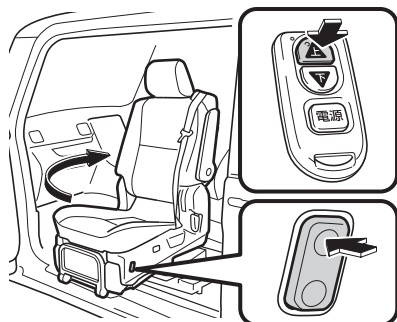
■ フロント側からシートが車外に出ているとき

▼ 操作方法

1. 駐車ブレーキがかかっていることと、シフト レバーがPレンジの位置にあることを確認します。
2. スライド ドアを全開にし、助手席側ドアが全開になっていることを確認します。
3. シート昇降スイッチの上側（またはリモコン スイッチの電源を入れ、上昇ボタン）を押し続けて、シートを車内側に上昇させます。



4. さらにシート昇降スイッチ（またはリモコン スイッチ）を押し続けて、シートを車内側に約 90° 回転させます。
 - シートが停止してブザーが鳴りますので、シート昇降スイッチ（またはリモコン スイッチ）から指を離します。

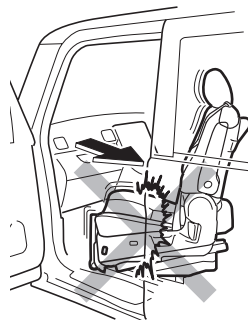


👉 アドバイス

- 助手席シート リフトを車内に収納すると、警告ブザーが止まります。

回転途中にスイッチから指を離してしまった場合

- 再度スイッチを押すと回転途中の角度で後方にスライドしますので、いったんスイッチから指を離してください。再度スイッチを押しなおすと、回転動作が再開します。



- フロント側から車内に戻す場合は、シート昇降スイッチの上側（またはリモコン スイッチの上昇ボタン）を押すごとに、シートが回転・スライドを繰り返して車内へ戻りますので、シートが車両に当たらないように調整しながら、ブザーが鳴る位置まで車内へ戻してください。

タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

5. シートが車外側に下降することを確認します。

- シート昇降スイッチの下側（またはリモコン スwitchの電源を入れ、下降ボタン）を押し続けます。



⚠注意

- 下降しないときは、ただちにダイハツサービス工場にて点検を受けてください。

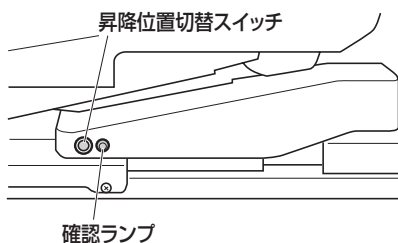
6. シート セットを完了します。

- 手順 3. ～4. の操作をします。

▼シート セット完了確認

助手席シート リフトが車内に戻った状態で、昇降位置切替スイッチを押すと、確認ランプが点灯します。（確認できたらスイッチを押して、確認ランプを消灯させてください）

（昇降位置切替スイッチ→ 20 ページ）



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

スイッチを押しても シートが動かないとき

シート昇降スイッチを押しても助手席シート リフトが動かないときは、下記の手順でシートを手動で車内に戻し、ただちにダイハツ サービス工場にて点検を受けてください。

⚠警告

- 助手席シート リフトを手動で車内に収納したあとは、シートに人や物をのせないでください。シートが完全に固定されていないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

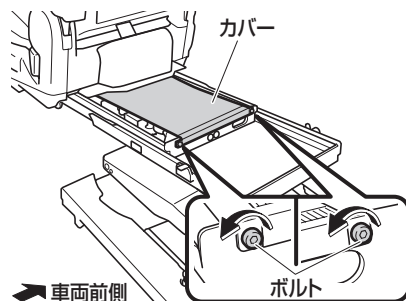
- ボルト脱着作業中に指先や手などをけがしないように十分注意してください。
- ゆるめる回数の指定があるボルトは、必要以上にゆるめないでください。外れて紛失したり、シートを収納できなくなるおそれがあります。
- シートを手動で車内に戻す際には、シート可動部に手などを挟まないように十分注意してください。
- 部品を取り外したときは、取り外した部品を紛失しないように注意してください。

👉アドバイス

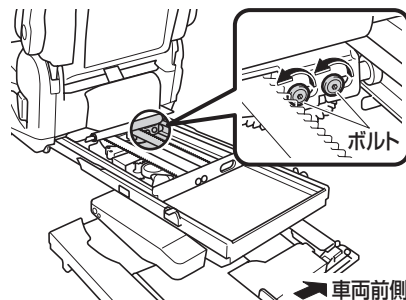
- シート昇降スイッチを押すとブザーが鳴り、助手席シート リフトがかすかに動くときもあります。

▼ 収納方法

1. 駐車ブレーキがかかっていることと、シフト レバーがPレンジの位置にあることを確認して、安全のため、エンジンを停止させます。
2. 助手席側ドア、スライド ドアが全開になっていることを確認します。
3. グローブ ボックスからタント ウェルカム シート 非常用工具の六角レンチとアダプターを取り出します。
(非常用工具→ 59 ページ)
4. シート 後側にあるカバーのボルト (2本) を六角レンチで反時計回りにゆるめて取り外し、カバーをめくります。

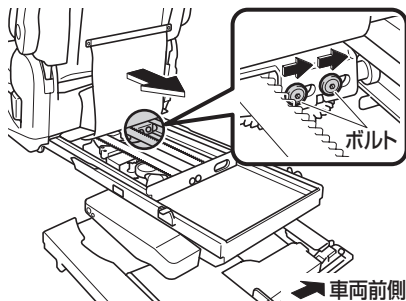


5. リフト ベース内にあるボルト (2本) を六角レンチで反時計回りにゆるめます。
 - ボルトは約 4.5 回転回します。

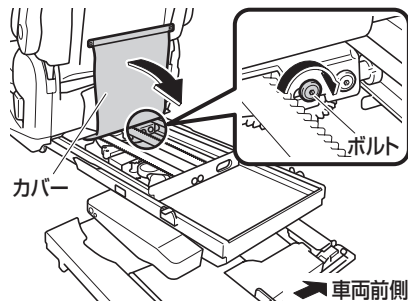


タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

6. ゆるめたボルトを車両前側にいっぱいまでスライドさせて、手でシートを少し上昇させ、ギヤのかみ合わせを外します。



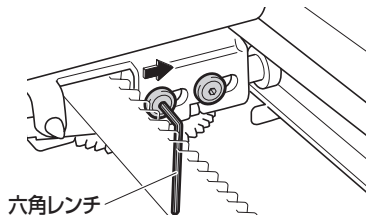
7. ボルトを車両前側いっぱいまでスライドさせた状態で、車両後側のボルトを時計回りに締め付けて固定し、カバーを戻します。



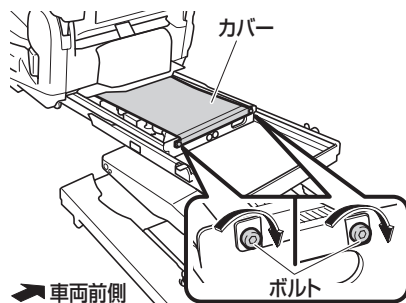
アドバイス

ボルトのスライド操作について

- どちらか片方のボルトをスライドさせると2本同時にスライドします。
- 六角レンチをボルトに取り付けた状態で操作すると、スライドさせやすくなります。



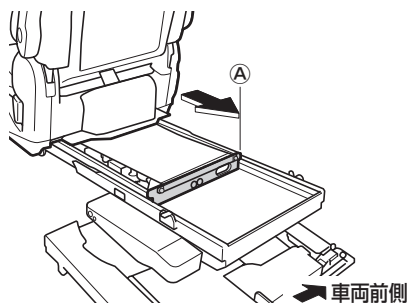
8. 取り外したカバーのボルトを手で止まる位置まで時計回りに締めつけ、カバーを固定します。



タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

9. シートを①の位置まで手動で上昇させて、車内側へ戻します。



⚠注意

助手席シート リフトを上昇させるときは

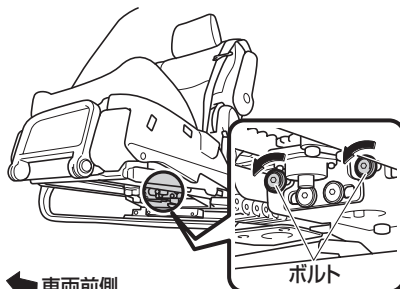
- 助手席シート リフトが自重で下がらないように、シートを手で保持しながら操作をしてください。シートが急に下降して、けがをするおそれがあります。

👉アドバイス

- 車内側に戻す途中で止まったときは、手順 6. からやり直してください。

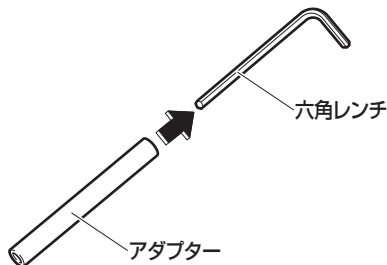
10. シート底面にあるボルト（2本）を六角レンチで反時計回りにゆるめま

- ボルトは約 1 回転回します。



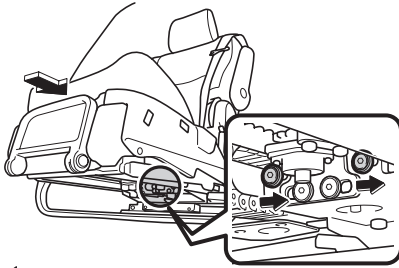
👉アドバイス

- シート底面にあるボルトをゆるめるときは、六角レンチにアダプターを差し込んで使用してください。



タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

11. ゆるめたボルトを車両後側にいっぱいまでスライドさせて、手でシートを少し上昇させ、ギヤのかみ合わせを外します。

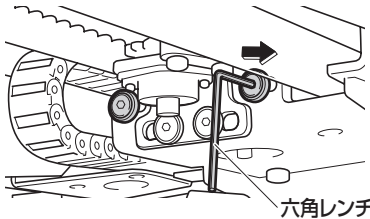


← 車両前側

👉 アドバイス

ボルトのスライド操作について

- どちらか片方のボルトをスライドさせると2本同時にスライドします。
- 六角レンチをボルトに取り付けた状態で操作すると、スライドさせやすくなります。



六角レンチ

12. シートを止まる位置いっぱいまで手でゆっくりと上昇させて、車内側へ確実に戻します。



⚠️ 注意

助手席シート リフトを上昇させるときは

- 必ずゆっくりと車内側へ戻してください。シートを勢いよく車内側へ戻すと、ギヤなどが干渉してシートが破損するおそれがあります。
- 助手席シート リフトが自重で下がらないように、シートを手で保持しながら操作をしてください。シートが急に下降して、けがをするおそれがあります。
- 指や手を挟まないよう十分注意しながら車内側へ戻してください。

👉 アドバイス

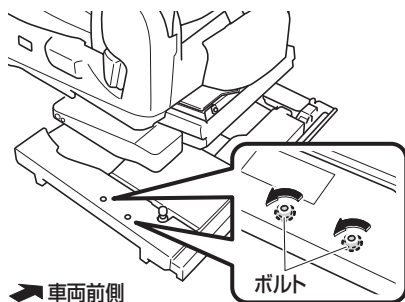
- 車内側に戻す途中で止まったときは、手順 11. からやり直してください。

タント ウェルカム シートの取り扱い

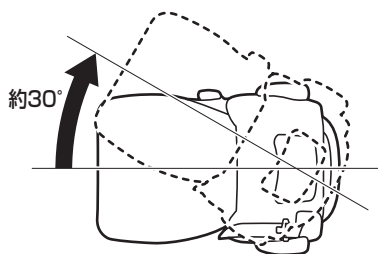
助手席シート リフト

13. 六角レンチでボルト（2本）を反時計回りにゆるめます。

- ボルトは約 1.5 回転します。



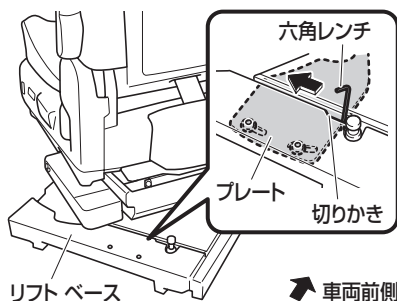
14. シートを手でゆっくりと車内側に約 30° 回転させます。



アドバイス

- 助手席シート リフトが車内へ回転しないときは、再度、ボルトをゆるめ、ギヤのかみ合わせを外してください。

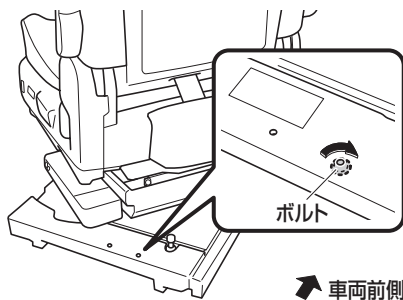
15. リフト ベースの車両後側にある切りかきに六角レンチを上から差し込んで、内部にあるプレートを手で左にいっぱいまでスライドさせます。



アドバイス

- プレートが左いっぱいまでスライドしないときは、シートを左右に軽くゆすりながらスライドさせてください。

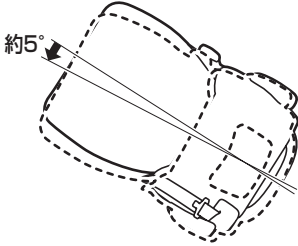
16. ボルトを 1 本だけ時計回りに締めつけて固定します。



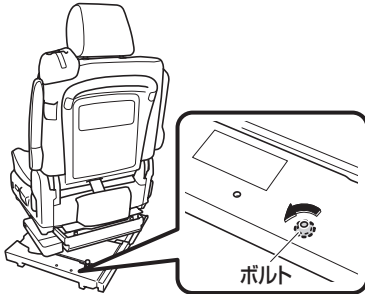
タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

17. いったんシートを車外側（収納方向と逆）に少し回転させます。

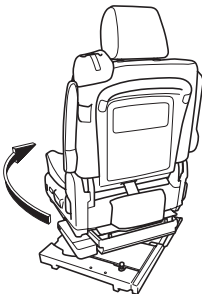
- シートが回転する角度は、約 5° 程度です。



18. 手順 16. で締めつけたボルト 1 本を反時計回りにもう一度ゆるめます。



19. シートを「カチッ」と音がする位置まで手で車内側に回転させます。



20. シートを軽くゆすり、固定されたことを確認します。

⚠注意

- 助手席シート リフト収納後は、必ずシートを軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。シートが固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

👉アドバイス

- 助手席シート リフトが固定されない場合は、いったんシートを車外側へ回転させ、再度「カチッ」と音がする位置まで車内側に回転させてください。それでも固定されない場合は、手順 12. からやり直してください。

21. 助手席側ドアとスライド ドアを閉めます。

⚠注意

- 助手席シート リフトを手動で車内に収納したあとは、ただちにダイハツサービス工場にて点検を受けてください。
- 点検・修理が完了するまでは、助手席シート リフトに座らないでください。

タント ウェルカム シートの取り扱い

助手席シート リフト

リヤ シートについて

リヤ シートを操作することで、ラゲージルームを広くすることができます。

⚠️注意

- リヤ側から助手席シート リフトを操作するときは、必ずリヤ シートを後方いっぱいまでスライドさせてから操作してください。後方いっぱいまでスライドさせないと、リヤ シートに助手席シート リフトが当たって停止したり、シートが損傷するおそれがあります。
- 助手席シート リフトは、標準車の助手席シートと形状が異なります。リヤシートを格納して後席フル ラゲージモードにはできません。
フル ラゲージ モードにすると、助手席シート リフト背面のシート ベルト巻取り部に当たって損傷するおそれがあります。

チャイルド シートの取り付け

- 助手席シート リフトには、チャイルド シートを取り付けないでください。
- チャイルド シートは、リヤ シート左右席に取り付けることができます。
チャイルド シートの固定のしかたについては、標準車の取扱説明書（別冊）をご参照ください。
- チャイルド シートを取り付け際には、以下のことを必ず守ってください。

⚠️警告

助手席シート リフトを操作するときは

- 助手席シート リフトを操作するときはリヤ シートにチャイルド シートを取り付けないでください。助手席シート リフトがスライドまたは回転する際に、手や足などを挟んでけがをしたり、チャイルド シートに助手席シート リフトが当たって損傷したりするおそれがあります。

チャイルド シートについて

- チャイルド シートは様々なタイプの物があります。取り付け要領はタイプにより異なりますので、必ず十分に確認したうえで取り付けを行ってください。万一のとき、チャイルド シートが外れ、重大な事故につながるおそれがあります。
また、取り付け可能なチャイルド シートについては、ダイハツ サービス工場にご相談ください。

チャイルド シートの選びかた

■ シート ベルトで取り付けるチャイルド シート適合性一覧表

質量グループ	座席位置	
	フロントシート	リヤシート
	助手席シートリフト	左右席
0(10kgまで)	×	U
0+(13kgまで)	×	U
I(9~18kg)	×	U*
II(15~25kg)	×	U*
III(22~36kg)	×	U*

●記号の説明

U : この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーのチャイルドシートが取り付け可能です。

× : チャイルドシートを取り付けることはできません。

* ヘッドレストとチャイルドシートが干渉して、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストを最上段に固定するか、取り外してください。

表に記載されていないチャイルドシートを使用する場合は、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。



タント ウェルカム シートの取り扱い 助手席シート リフト

■ ISO* FIX対応チャイルド シート固定バー&トップ テザー アンカーで 取り付けるチャイルド シート適合性一覧表

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0(10kgまで)	E	ISO/R1	×
0+(13kgまで)	E	ISO/R1	×
	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
I(9~18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF* ¹
	B1	ISO/F2X	IUF* ¹
	A	ISO/F3	IUF* ¹
II(15~25kg)		—	×
III(22~36kg)		—	×

●記号の説明

IUF：この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーのISO FIX対応の前向きチャイルド シートのみ取り付け可能です。

×：ISO FIX対応チャイルド シートを取り付けることはできません。

*1 ヘッド レストとチャイルド シートが干渉して、チャイルド シートが正しく取り付けられない場合、ヘッド レストを最上段に固定するか、取り外してください。

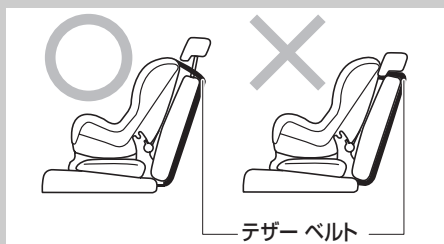
表に記載されていないチャイルド シートを使用する場合は、チャイルド シート製造業者または販売業者にご相談ください。

* International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略

▼チャイルド シートを取り付ける前に

⚠警告

- チャイルド シートのテザー ベルトがヘッド レストに干渉しないように、ヘッド レストを「カチッ」と音がする位置まで引き上げてからトップ テザー アンカーに固定してください。それでもヘッド レストに干渉する場合は、ヘッド レストを取り外して安全な場所に固定しておいてください。ヘッド レストを下げたままだと、テザー ベルトがヘッド レストに当たってたるみ、衝突したときなどにチャイルド シートが動いて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



車いすの収納

車いすの収納について

▼ 操作を行う前に

⚠️注意

- 各部の操作および車いすの出し入れはけがなどをしないよう慎重に行ってください。
- 平坦地に停車して、収納してください。坂道や平坦でない道路などでの収納は、車いすが不安定になり大変危険です。
- 介添えの方は、必ず駐車ブレーキをかけた状態を確認し、シフト レバーを **ⓐ**レンジに入れて収納してください。また、車両周辺の交通に十分注意して収納してください。

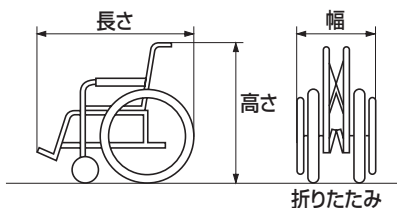
👉アドバイス

- 車いすの形状またはタイヤ サイズによっては、収納ができないことがあります。確実に固定されない場合は、収納をしないでください。
- 車いすを収納するときは、シートや室内の傷付きを防ぐため、車いすまたは、車いす収納場所にカバーなどの使用をおすすめします。

収納できる車いすの寸法 (折りたたみ時)

リヤ シートの背もたれを起こし、前側にスライドさせた状態で収納できる車いすの寸法です。

長さ：1,080mm以下
幅：380mm以下
高さ：870mm以下

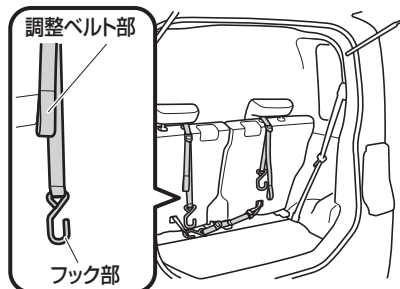


👉アドバイス

- リヤ シートを前側にスライドした場合、車いすの収納スペースは広くなりますが、後席の足元スペースが狭くなります。

車いす固縛ベルト

収納した車いすを固定するベルトです。
(3本)



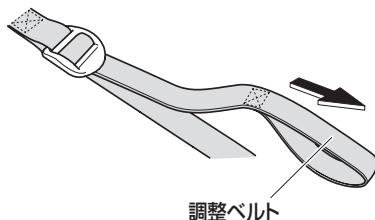
⚠注意

- 車いす固縛ベルトは、車いすの補助的な固縛ベルトです。使用中にゆるみや外れがないことを確認してください。

固縛ベルトの使いかた

▼ 固定するときは

1. 調整ベルトを引き、車いすを確実に固定します。



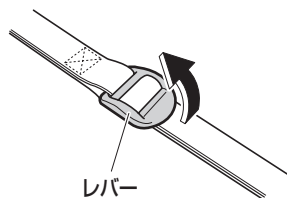
⚠注意

- 車いすをシートの背面に押さえつけるようにして、確実に固定してください。固定されていないと、走行中に車いすが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

2. 車いす固縛ベルトのフックを軽くゆさぶり、ベルトにたるみがないことを確認します。

▼ ゆるめるときは

車いす固縛ベルトのレバーを引き上げてベルトをゆるめます。



タント ウェルカム シートの取り扱い

車いすの収納

車いす収納方法

バック ドアからの収納

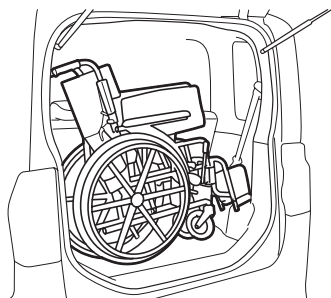
▼ 収納手順

1. バック ドアを全開にします。
2. リヤ シートの背もたれを起こします。

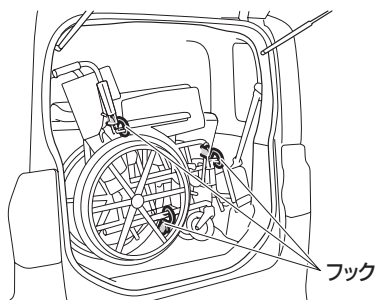
⚠ 注意

- リヤ シートの背もたれが確実に固定されていることを確認してください。

3. 車いすを折りたたみ、ラゲージ ルームに乗せます。



4. 車いす固縛ベルトのフックを車いすのフレームに引っかけます。



5. 固縛ベルトを調整し、車いすを固定します。

(固縛ベルトの使いかた
→ 55 ページ)

左側ドアからの収納

⚠注意

- 車いすが確実に固定できない場合は、バック ドアから収納してください。
(バック ドアからの収納
→ 56 ページ)

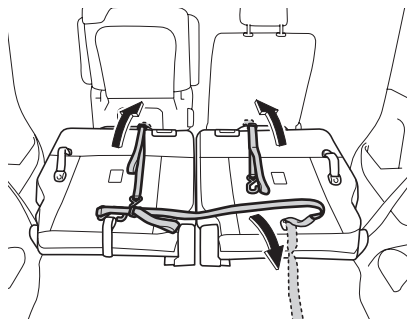
👉アドバイス

- 車いすを左側ドアから収納するときには、リヤ シートを使用することができません。

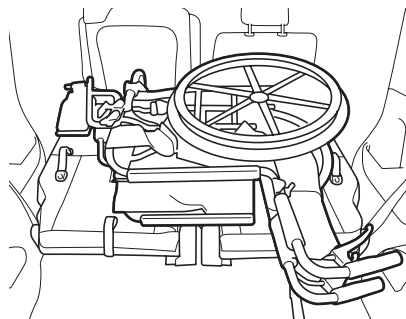
■ リヤ シートの背もたれを倒して 収納するとき

▼ 収納手順

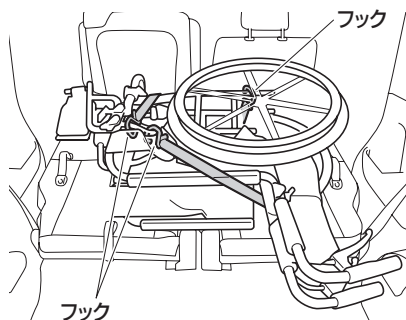
1. 左側ドア（助手席側ドアとスライド ドア）を全開にします。
2. リヤ シートの背もたれを倒します。
3. 固縛ベルトを車いすの下にならないように置きます。



4. 車いすを折りたたみ、リヤ シートの背もたれに乗せます。



5. 車いす固縛ベルトのフックを車いすのフレームに引っかけます。



6. 固縛ベルトを調整し、車いすを固定します。

(固縛ベルトの使いかた
→ 55 ページ)

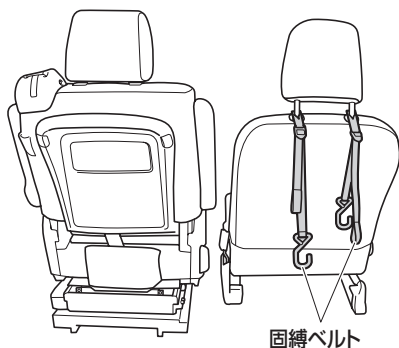
タント ウェルカム シートの取り扱い

車いすの収納

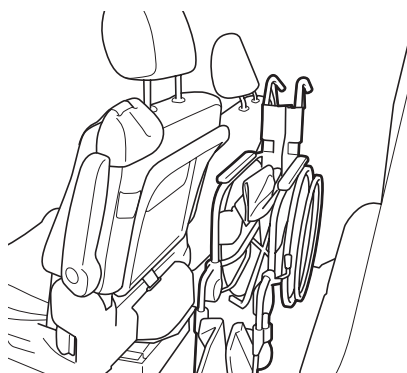
■ 運転席後部に収納するとき

▼ 収納手順

1. 左側ドア（助手席側ドアとスライドドア）を全開にします。
2. 車いすが収納できる位置まで運転席と助手席シート リフトを前にスライドさせます。
3. リヤ シートを後方いっぱいまでスライドさせます。
4. リヤ シートのヘッド レストから車いす固縛ベルトを取り外し、運転席のヘッド レストに取り付けます。



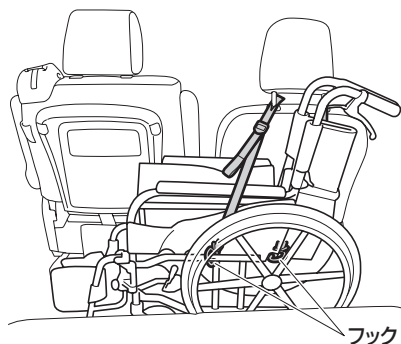
5. 車いすを折りたたみ、運転席後部に乗せます。



⚠ 注意

- 車いすを運転席後部に収納するときには、運転席シート バック ポケットに物を収納しないでください。走行時、車いすに当たってシートや物が損傷するおそれがあります。

6. 車いす固縛ベルトのフックを車いすのフレームに引っかけます。



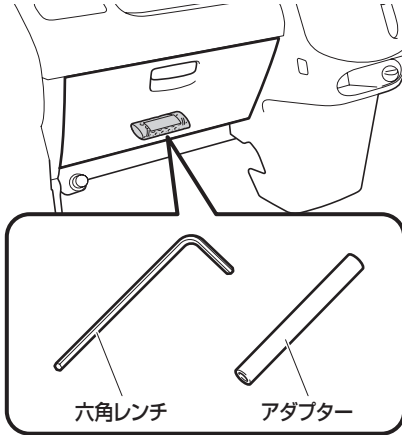
7. 固縛ベルトを調整し、車いすを固定します。

（固縛ベルトの使いかた
→ 55 ページ）

非常用工具

収納場所

タント ウェルカム シート非常用工具はグローブ ボックス内にあります。



アドバイス

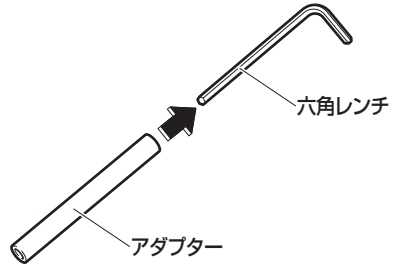
- 非常用工具を使用したあとは、もとの包装材でつつみ直してグローブ ボックス内に収納してください。

■ 非常用工具

助手席シート リフトに異常が発生して、動かなくなった場合、手でシートを車内へ収納するときなどに使用します。

アドバイス

- 助手席シート リフトの下など、狭い場所を操作するとき、ボルトがゆるまないときは、六角レンチにアダプターを差し込んで使用してください。



ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換

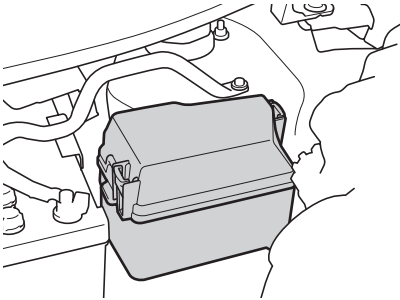
ヒューズの位置

助手席シート リフトが動かなくなった場合は、ヒューズ切れが考えられます。点検、交換を行ってください。ヒューズについてはダイハツ サービス工場にご相談ください。

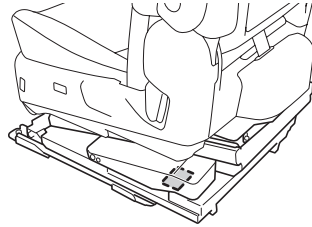
⚠注意

- 交換してもすぐに切れてしまうときは、ダイハツ サービス工場で点検を受けてください。
- 規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

■ エンジン ルーム ヒューズ ボックス
エンジン ルーム内にあります。

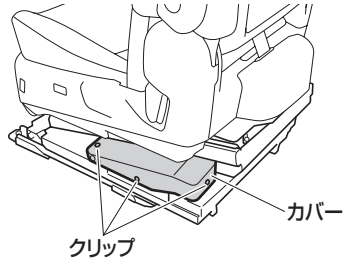


■ 助手席シート リフト本体ヒューズ
シート下のリフト ベース側面にあります。



▼ カバーの取り外しかた

1. エンジン スイッチを“OFF”にします。
2. カバーのクリップ (3 個) を取り外し、カバーを取り外します。



▼ カバーの取り付けかた

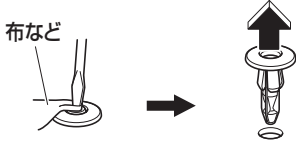
取り外すときと逆の手順で行います。

タント ウェルカム シートの取り扱い ヒューズの点検と交換

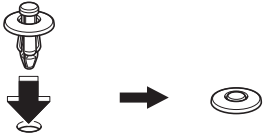
👉 アドバイス

クリップの取り付け、取り外しについて

- 取り外すときは、⊖ドライバーで中央部を押し込んだあと、クリップ全体を引っ張ります。

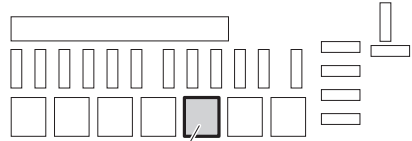


- 取り付けるときは、中央部を引き出したあと差し込み、中央部を押し込みます。



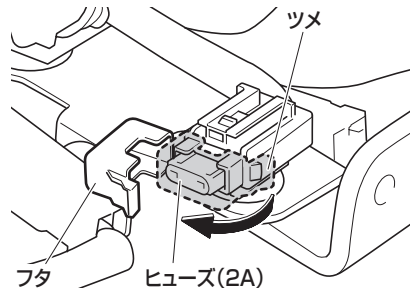
ヒューズ ボックス

- エンジン ルーム ヒューズ ボックス
ヒューズ ボックスのカバーに各ヒューズのアンペア数と受け持つ装置の名称を表示しています。



ウェルカム シート専用ヒューズ(30A)

- 助手席シート リフト本体ヒューズ
シート下のリフト ベース側面に助手席シート リフト本体ヒューズがあります。



👉 アドバイス

- ヒューズは、フタを開けないと点検できません。
ツメを起こして、矢印の方向へ開きます。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

定期点検整備

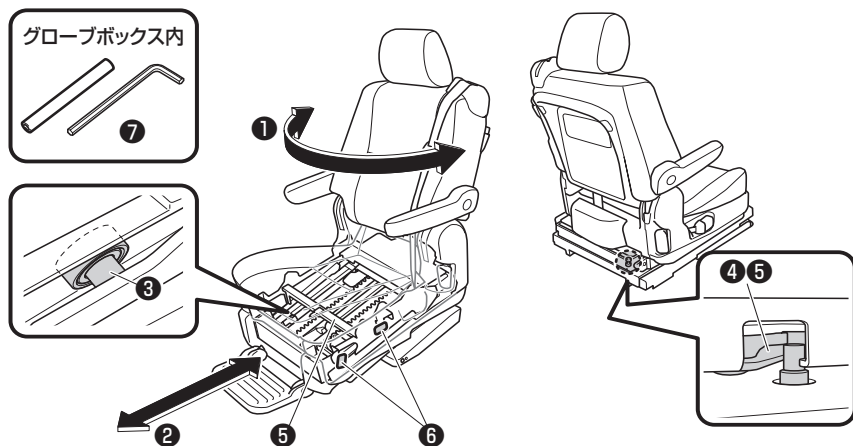
定期点検整備

車の点検・お手入れ

- 故障を減らして長く大切に使うために定期点検整備をお願いします。
- 点検結果を記録する際には、記録簿をコピーしてご使用ください。

点 検 整 備 項 目	点 検 時 期		交 換 時 期 (年)	備 考
	日 常 使 用 者 点 検	自 家 用 車		
		12 月 1 日 頃		
リフト部	○	○		スムーズさ スムーズさ スムーズさ スムーズさ ※ ガタ（異音）がないこと ガタ（異音）がないこと 引っかかりがないこと
① 回転作動	○	○		
② スライド（前後）作動 スライド（昇降）作動	○ ○	○ ○		
③ ローラー部		○		
④ ロック状態	○	○		
⑤ 給油脂状態（リフトレール、ギヤ部、 回転ロック部、グリースアップ）		○		※
⑥ スイッチ作動	○	○		
⑦ 非常用工具の搭載	○	○		

※印部グリースアップは異音やリフトのガタ付きが発生した時には随時注油ください。



定期点検整備記録簿
分解整備記録簿

該当なし / 異常なし	✓	交換 ×	締付 T	清掃 C
調整 A	修理 △	分解 ○	給油 L	省略 P

点検の結果および整備の概要

■ タント ウェルカム シートの点検

《リフト部》

- ・回転(作動)
- ・スライド(前後)作動
- ・スライド(昇降)作動
- ・ローラー部
- ・ロック状態
- ・給油脂状態
- ・スイッチ作動
- ・非常用工具の搭載

■ その他必要となった点検整備の内容および主な交換部品

メンテナンスに関するアドバイス

型式..... 初年度登録または初年度検査年度

自動車登録番号または車両番号(左記の無い車両にあっては、車台番号)

自動車分解整備事業者の氏名または名称および事業場の所在地
氏名または名称

事業場の所在地

認証または指定番号..... 点検の年月日

点検時の総走行距離..... 年 月 日
整備を完了した年月日

km..... 年 月 日
整備主任者の氏名

型式	タントウェルカムシート	
架装物名	タントウェルカムシート	
車体 No.		
お客様の業種・積載物	架	装
	メ	メ
依頼者の氏名または名称及び住所		
氏名または名称		
住所		

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

さくいん

ア

アーム レスト ----- 18

オ

大型アシスト グリップ ----- 23

折りたたみ式フット レスト ----- 19

カ

各部の名称 ----- 12

ク

車いす固縛ベルト ----- 55

車いす収納方法 ----- 56

車いすの収納について ----- 54

コ

工具 ----- 59

工具の収納場所 ----- 59

シ

シート昇降スイッチ ----- 19

シートスライド調整 ----- 13

シート バック テーブル ----- 15

収納できる車いすの寸法 ----- 54

助手席シート リフト ----- 8

助手席シート リフトの使いかた ----- 24

シートを車外に出すとき ----- 33

シートを車内に戻すとき ----- 36

シートを操作する前に ----- 31

ブザー音について ----- 38

昇降位置切替スイッチ ----- 20

チ

チャイルド シートの選びかた ----- 51

チャイルド シートの取り付け ----- 50

テ

点検 ----- 64

ヒ

非常時の収納方法 ----- 39

上昇するが下降しないとき ----- 40

スイッチを押しても

シートが動かないとき ----- 44

非常用工具 ----- 59

ヒューズの点検と交換 ----- 60

ヒューズ ボックス ----- 61

フ

フット レスト ----- 19

ヘ

ヘッド レストの調整 ----- 15

マ

前倒し ----- 15

リ

リクライニング調整 ----- 14

リモコン スイッチ ----- 20

電池交換 ----- 23

リヤ シートについて ----- 50

**お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
お近くのダイハツ販売会社
またはお客様相談室までお願いいたします。**

**お問い合わせには、あらかじめ下記の事項
について確認のうえ、ご連絡願います。**

- (1) 車名および型式、登録番号
- (2) ご購入年月日
- (3) 走行距離
- (4) お客様のご住所、お名前、電話番号

01999-B2379

お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、お近くのダイハツ販売会社
または下記お客様相談室までお願いいたします。

ダイハツ工業株式会社 お客様相談室

フリーコール  0800-500-0182

受付時間 平日 9:00~19:00

土日祝 9:00~17:00

〒563-8651 大阪府池田市ダイハツ町1番1号

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。(<http://www.daihatsu.co.jp/privacy/index.htm>)

ダイハツ工業株式会社

車両の仕様などの変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください